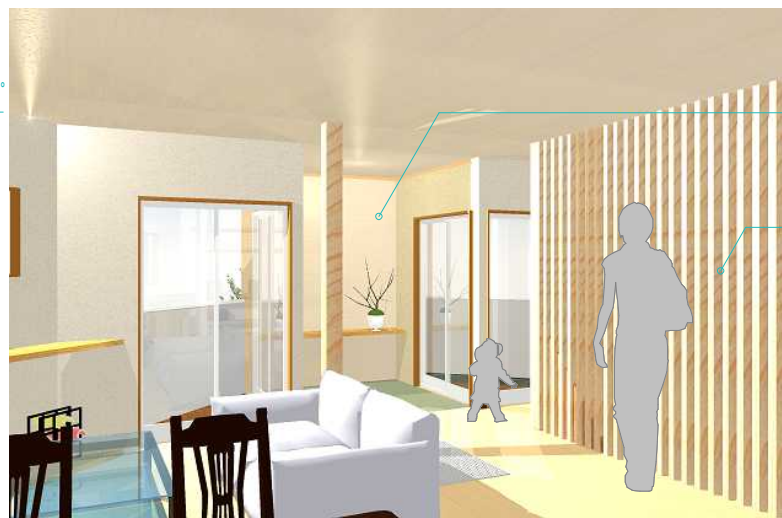


8角形プランを用いたことにより奥行きが感じられるようになります。キッチンの様子は伺える程度です。

ファイバーグレーチング床から1階の様子が伺えます。

畳スペースよりリビング、ダイニングエリアを見る



ベランダに挟まれた畳スペースは気持ちよく風が抜けます。

格子の仕切りは光や風を階段へ導きます。

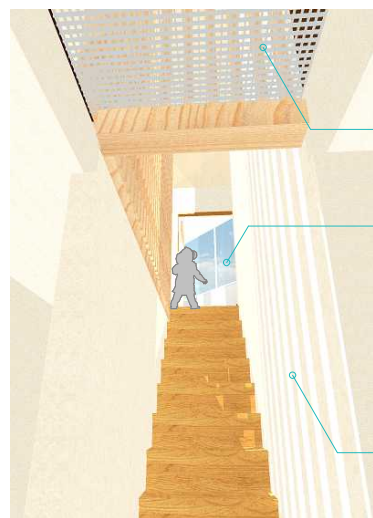
ダイニングエリアから畳スペース方向を見る



テラスまで視線がぬけてちょっと露天感覚？

ガラス建具で化粧室まで広々。

浴室より化粧室、テラス方向を見る

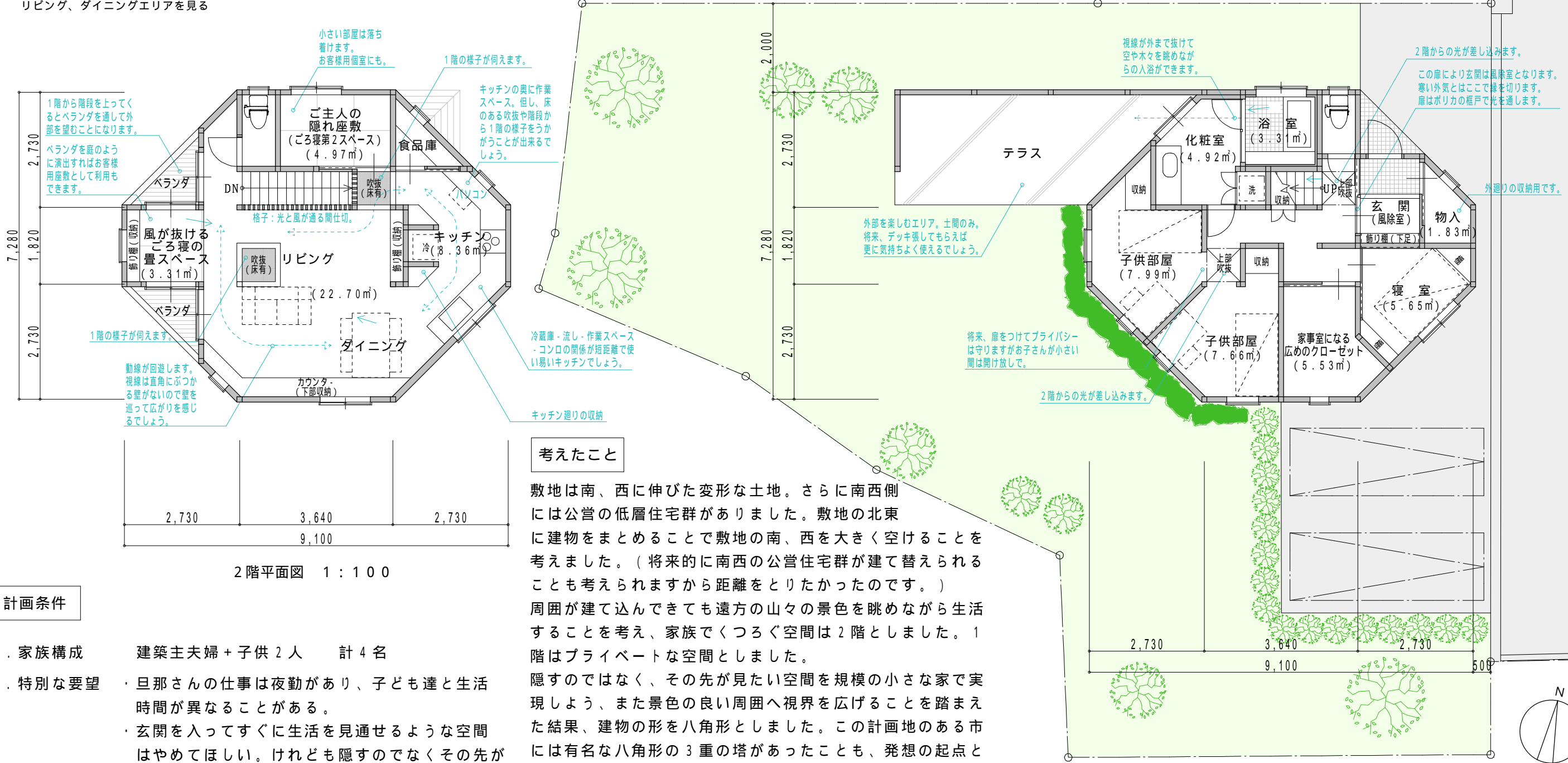


ファイバーグレーチング床光が抜けます。

空に向かって階段を上ります。

リビングからの光が格子の陰影を壁に映し出します。

1階より階段を見上げる



考えたこと

敷地は南、西に伸びた変形な土地。さらに南西側には公営の低層住宅群がありました。敷地の北東に建物をまとめることで敷地の南、西を大きく空けることを考えました。(将来的に南西の公営住宅群が建て替えられることも考えられますから距離をとりたかったのです。) 周囲が建て込んできても遠方の山々の景色を眺めながら生活することを考え、家族でくつろぐ空間は2階としました。1階はプライベートな空間としました。隠すのではなく、その先が見たい空間を規模の小さな家で実現しよう、また景色の良い周囲へ視界を広げることを踏まえた結果、建物の形を八角形としました。この計画地のある市には有名な八角形の3重の塔があったことも、発想の起点となっています。八角形のプランを初めて考えましたが、動線が回り込むような展開が考えられ、小さなスペースの割に広がりのある空間演出ができると発見できました。

配置図・1階平面図 1:100

計画条件

- 1. 家族構成 建築主夫婦 + 子供 2人 計 4名
- 2. 特別な要望
 - ・旦那さんの仕事は夜勤があり、子ども達と生活時間が異なることがある。
 - ・玄関を入れてすぐに生活を見通せるような空間はやめてほしい。けれども隠すのではなくその先が見たくなるような空間が良い。